



2017年 6月18日

第193回通常国会閉会

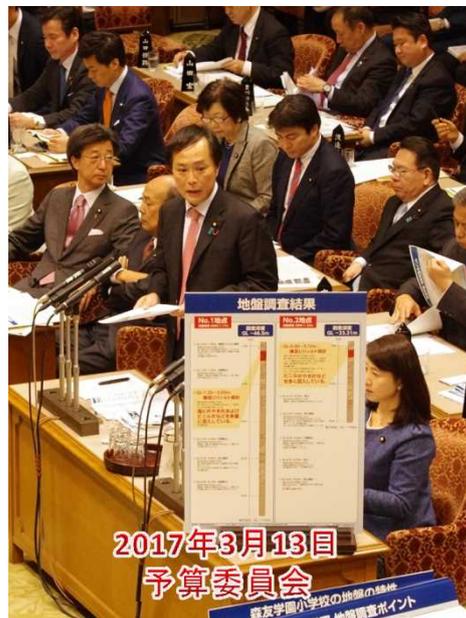
第193回通常国会では、森友学園への国有地売却問題説明プロジェクトチームの共同座長として「森友学園問題」についての調査を進めるとともに、国家戦略特区疑惑調査チーム事務局長、参議院共謀罪法案対策チーム事務局長として、後半国会の焦点となった「加計学園問題」や「共謀罪」の国会審議において委員会質疑の調整を行うなど、復帰1年目から民進党政務調査会副会長として活発な活動を行うことができました。

国会最終盤における共謀罪の趣旨を含んだ「組織的犯罪処罰法改正案」の審議では、「中間報告」という異例の手続きで委員会審議を一時的に打ち切り、本会議で究極の強行採決が行われ可決されました。こうした与党の姿勢は、国会の存在意義を自ら否定する行為と言わざるを得ません。「加計学園」の獣医学部新設問題では、前文科次官の証人喚問にも応じようとせず、何としても疑惑を封じ込めようとしています。国会は閉会しましたが、引き続き疑惑解明に向けた取り組みを進めなければならないと思っています。

今通常国会では予算委員会においてでの質問に立つ機会を頂き、「森友問題」について真相究明に

という異例の手続きで委員会審議を一時的に打ち切り、本会議で究極の強行採決が行われ可決されました。こうした与党の姿勢は、国会の存在意義を自ら否定する行為と言わざるを得ません。「加計学園」の獣医学部新設問題では、前文科次官の証人喚問にも応じようとせず、何としても疑惑を封じ込めようとしています。国会は閉会しましたが、引き続き疑惑解明に向けた取り組みを進めなければならないと思っています。

今通常国会では予算委員会においてでの質問に立つ機会を頂き、「森友問題」について真相究明に



2017年3月13日 予算委員会



2017年3月13日 予算委員会

向け努めて参りました。所属する厚生労働委員会では大臣所信に対する質疑をはじめ、雇用保険法、精神障害福祉法、介護保険法、厚労省設置法、児童福祉法、の5法案について、現場の皆さまから寄せられたご意見や要請事項をもとに質疑を行いました。

引き続き組合員の皆さまや現場の声を国政に反映させるべく全力を尽くしてまいります。今後ともご指導ご支援のほどよろしくお願いいたします。



2017年2月28日 森友学園の小学校建築現場を視察

2017年 5月11日

参議院議員会館において、**民進党森友学園への国有地売却問題説明PT会議**を開催、籠池泰典・森友学園前理事長からのヒアリングと質疑応答を行いました。籠池前理事長からは、森友学園側の弁護士や設計業者のやりとりのメールの資料が提出され、メールには「約3メートル以深には廃棄物がない」ことが明らかになりました。国との売買契約では地中9.9メートルの深さまでゴミがある前提で



撤去費用が見積もられましたが、事実であればその根拠が崩れつつあります。

関連する委員会での質疑を通じて、引き続き追究を強めてまいります。



民進党・新緑風会 共謀罪法案対策チーム



厚生労働委員会 厚生労働省設置法の一部を改正する法律案

2017年 6月8日

この法律案は、近年の保健医療技術の著しい進歩に対応すべく、医学的知見に基づく一元的な施策の遂行のために医務技監を新設するとともに、厚生労働省の組織再編を行うものです。

まず、医務技監が事務次官級であることの根拠、有期労働対策部の解消にともなう懸念事項、過重労働特別対策室の設置による効果などについて政府に確認しました。

次に、「データヘルス改革推進本部」における議論について、ビックデータ活用推進計画・行程表の進捗状況、ビックデータの活用にあたっての社会保険診療報酬支払基金の審査の在り方、組織・業務の効率化の検討状況について確認しました。

また、支払基金が行っている



厳しいレセプトチェックにより適正な診療報酬の支払いが担保されており、薬剤の処方量の抑止力としての効果が大きいことを指摘し、人員削減や事業所の統廃合ありきの議論が進んでいることの問題点について塩崎厚労大臣の見解を求めました。大臣からは、より良い医療を提供する観点から審査・支払いの在り方を検討しており、あくまでも医療の中身を考えながら改革を進めていくとの前向きな答弁がありました。

更に「データヘルス時代の質の高い医療の実現に向けた有識者検討

会」における議論を踏まえて、公平・中立な審議会での議論を行うことを要請しました。

その後の採決において、この法案は多数をもって原案通り可決されました。



2017年 6月13日

厚生労働委員会

児童福祉法及び児童虐待防止等に関する法律の一部を改正する法律案

国会が最終盤を迎える中、厚生労働委員会において「児童福祉法及び児童虐待防止等に関する法律の一部を改正する法律案」について質疑を行いました。

まず最初に「加計学園」を巡る新たな課題について質問しました。加計学園が獣医学部の設置にあたって、鳥インフルエンザや狂犬病などきわめて危険性の高いウイルスを扱う「バイオセーフティーレベル3」実験施設を学生居室施設内に設置しようとしていることの安全性や、設計、施工、安全管理の実績がない建設業者が工事を行っている点について指摘し、認可の前提として厚労省としての調査と確認を要請しました。

次に、「子ども・子育て支援新制度」における公定価格制度によって保育人材の偏在化が進んでいることへの対策について確認するとともに、保育士人材の処遇改善に対して地域間格差が生じない基準設定に関して塩崎厚労大臣に検討を要請しました。

また、日本小児科学会と厚生労働省の虐待死亡件数の調査結果に5倍の乖離がある点や、医師が虐待死の可能性があると警察に通報したにも係わらずその9割が調査されていない事実を指摘し、関係各省の連携した実態把握の推進を要請しました。

最後に、専修学校・大学への進学率が一般家庭で育った子どもで8割以上である一方、児童養護施設で育った子どもは2割程度に留まっている点を指摘し、進学率の差が貧困

の連鎖につながることを踏まえて、現在18歳となっている児童福祉法上の対象年齢の見直しの必要性について問題提起しました。大臣からは、必要な人に必要な支援が届くように引き続き検討するとの答弁がありました。

その後の採決において、委員会での議論を踏まえ9項目の附帯決議を付した上で、本法案は全会一致で可決されました。



お知らせ



かわいたかのり活動報告DVD

緑風CHANNEL Vol.1

が完成しました。

川合孝典ホームページ、YouTube

でご覧いただけます。

上映時間は約16分です。